

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	排水機場樋門整備事業		担当部署	経済建設部 土木課	
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市地域防災計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	昭和 <input type="text" value=""/> 不明 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと		終期	<input type="text" value="未定"/>
(小項目)		危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進			
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市が管理する排水機場														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	浸水被害を最小限に食い止める。 市民生活の安全確保。 住宅への浸水および道路への冠水被害の軽減。														
事業計画	30年度に何を計画していたか	(市単)黒崎排水機場水中ポンプ更新工事 60,000千円 弁財天排水機場水中ポンプ更新工事 30,000千円 立岩区画排水機場施設更新工事 19,000千円 (県単)平成30年度 池谷柳の本排水機場新設工事 45,000千円 (社会資本整備総合交付金)大久保排水機場改良工事 90,000千円														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>累計整備基数</td> <td>65</td> <td>67</td> <td>72</td> <td>75</td> <td>79</td> <td>基</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位	累計整備基数	65	67	72	75	79	基
指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位										
累計整備基数	65	67	72	75	79	基										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	補助金制度等を利用し、事業の進捗を図っている。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 基数	1	5	5	3	4	基
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	累計整備基数	62	67	-	-	-	基
	目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	49,500	13,500	157,900	0	13,100	234,000
		補正予算額	△ 22,009	0	66,100	0	17,909	62,000
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	27,491	13,500	224,000	0	31,009	296,000
		決算額	27,491	13,500	178,800	0	17,143	236,934
		繰越額	0	0	45,200	0	7,800	53,000
		人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)		総人件費	総事業費	
		1.0	0.0		7,321	244,255		

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	85,256	236,934	238,500	300,000	300,000
	うち一般財源	6,696	17,143	11,900	258,500	258,500
	人件費	7,234	7,321	7,321	7,321	7,321
	総事業費	92,490	244,255	245,821	307,321	307,321

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		予定していた事業は完了した。
	効率性	A:効率的だった		完了検査において、所定の機能を確保でき確認できた。
②成果に対する評価	指標名	累計整備基数		予定していた事業は完了した。しかし、大久保排水機場においては、国費の充当率が低く一般財源の負担が大きくなった。
	目標	67	基	
	実績	67	基	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		A		事業は計画通り進捗し、計画通りである。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	ポンプ1基を更新する費用が莫大であるため、現在は道路の防災・安全交付金を利用していますが、採択基準の見直しや要望に対する交付率の低下を踏まえ、新たな交付金メニューに採択されるよう検討する必要があります。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	木津野排水機場改良工事 N=1基 75,000千円 土佐泊第一排水機場 N=1基 7,500千円 明神第一排水機場更新工事 N=1基 103,911千円 福泉寺排水機場 N=1基 73,000千円 立岩区画排水機場施設更新工事 N=1式 13,284千円 高島山路排水機場更新工事 N=1基 43,000千円			
	R2年度	定期的な運転管理や施設管理を通じ、問題箇所の抽出を行う。また、R1に策定する、排水機場長寿命化計画を基に適切な修繕計画を行う。			